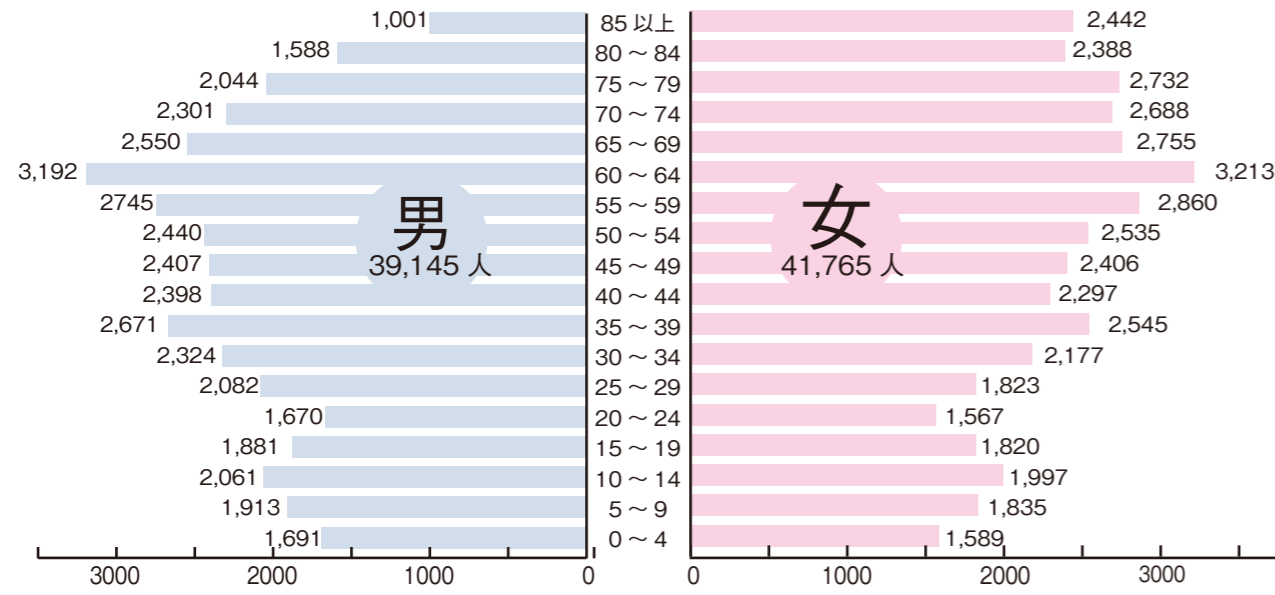


数字でみる中津川市



人口ピラミッド (資料：2010 国勢調査 10月1日現在)



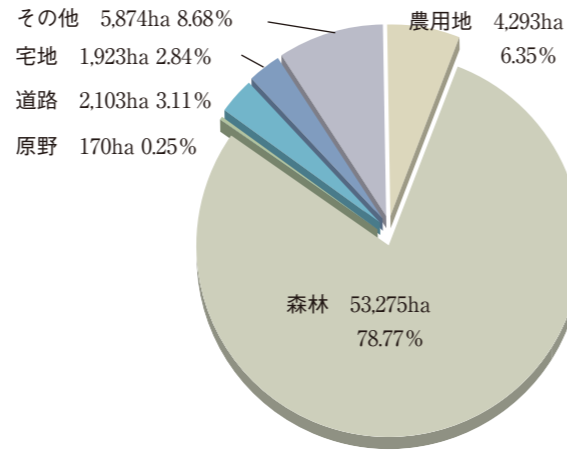
地域別世帯数・人口

(資料：住民基本台帳 平成 26 年 4 月 1 日現在)

地域	世帯	人口	地域	世帯	人口
中津地区	11,151	27,874	山口地区	645	1,832
苗木地区	2,261	6,414	坂下地区	1,743	4,917
坂本地区	4,643	13,028	川上地区	302	882
落合地区	1,382	3,925	加子母地区	992	3,074
阿木地区	821	2,453	付知地区	1,978	6,095
神坂地区	319	830	福岡地区	2,339	7,002
			蛭川地区	1,065	3,494

地目別面積

総面積 67,638ha (2010年10月1日現在)



平成 23 (2011) 年 3 月
 「なかつがわ全市災害救援対策本部」設置
 中津川市地域総合医療センター開設
 全国初山間立地「森の合板工場」本格稼働(加子母)
 JFA ころのプロジェクト「夢の教室」を全市展開開始
 リニア中央新幹線中間駅候補地が中津川市西部に決定
 にぎわい特産館リニールオープン
 岐阜清流国体リハール大会として全日本大学レスリング選手権大会を開催

平成 22 (2010) 年 2 月
 中津川市青郵記念館で盗難事件発生
 全市でブロードバンドサービス(中津川市情報通信ネットワーク整備事業)
 国史跡「中山道」に「新茶屋の一里塚から落合宿の区間」と「一里塚」「落合宿本陣」「常夜燈」が追加指定
 「東濃地方の地歌舞伎と芝居小屋」が岐阜の宝ものに認定
 第 2 回アジアオリエンタリング選手権大会開催(根の上高原ほか)
 下呂市と観光連携協定を締結
 藤村記念館「第二文庫」竣工
 ブラジル・レジストロ市友好親善団 20 名が来訪(姉妹都市提携 30 周年)
 東日本大震災

出生 (平成 26 年)
1 日 1.7 人

死亡 (平成 26 年)
1 日 2.7 人

結婚 (平成 26 年)
1 日 1.0 組

離婚 (平成 26 年)
1 日 0.3 組

世帯の人数 (平成 22 年)
2.9 人

転入 (平成 26 年)
1 日 5.4 人

転出 (平成 26 年)
1 日 6.1 人

市税 (平成 25 年度)
市民 1 人あたり 129,708 円

市職員 (平成 25 年)
市民 59 人に 1 人

乗用車数 (平成 26 年)
1 世帯 2.5 台

一般会計決算 (平成 25 年度)
市民 1 人あたり 476,532 円

火災 (平成 26 年)
1 日 0.13 件

交通事故 人身事故 (平成 26 年)
1 日 0.5 件

救急出動 (平成 26 年)
1 日 8.5 件

ごみ排出量 (平成 25 年度)
1 世帯当たり 1 日 2.5 kg

平成 21 (2009) 年 1 月
 緊急経済対策で「プレミアム付き商品券」販売開始
 馬籠地区の市外局番が「0573」に、市内局番が「69」に変更
 県立中津高等学校恵那北校舎閉校式
 中津川公園スケートパーク完成
 市役所改革推進本部の設置
 インターネットによる市議会中継開始(9月議会)
 蛭川公民館(蛭子座)完成
 緊急経済対策で「プレミアム付き商品券」販売開始
 馬籠地区の市外局番が「0573」に、市内局番が「69」に変更
 県立中津高等学校恵那北校舎閉校式
 中津川公園スケートパーク完成
 市役所改革推進本部の設置
 インターネットによる市議会中継開始(9月議会)
 蛭川公民館(蛭子座)完成

平成 20 (2008) 年 1 月
 加子母合板工場立地協定締結
 「岩屋堂のシデコブシ群生地」岐阜県天然記念物に指定
 岐阜県の「企業との協働による森林づくり」協定締結(日本たばこ産業「J.T.の森 中津川」の森林づくり(蛭川))
 中津川公園野球場「夜明け前スタジアム」完成
 市内の消防団を統合
 坂本ふれあい施設(愛称「坂本はなのきセンター」)オープン
 レスリング選手山口剛さんと成瀬一彦さんが市民栄誉賞を受賞
 「東濃成年後見センター中津川・恵那事務所」開所
 富山県高岡市と「災害時相互応援協定」を締結
 国から中津川市中心市街地活性化基本計画の認定
 「坂下の花馬」岐阜県重要無形民俗文化財に指定
 「妻籠宿・馬籠宿と中山道」世界遺産暫定一覽表候補の文化資産に記載
 市内で「レジ袋有料化」スタート
 なかつがわ全市緊急経済対策本部(行政と民間の協働組織)設置
 「市民による行政改革委員会」発足